

地域おこし協力隊通信 (No. 40) 中種子町の3年間

このたび4月30日付けで、3年の任期が終了します。紙面をお借りして謝意をお伝えしたいと思います。

思い起こせば、2016年の秋に種子島の南種子町と中種子町での協力隊の募集を知り、特に年齢制限のなかった中種子町に応募し、2017年5月に映像での情報発信担当として採用されたのが始まりです。およそ30年勤めた大阪のテレビ番組制作会社を3月いっぱい退社して大阪から車で下道だけを使って移動しました。

種子島ではいろいろ驚かされました。

まず種子島の地形は粘土の塊を握ったような、また密教の法具、五鈷杵に似ていること(その形態から、鹿児島放送のふるさとCM大賞にて受賞した「ぎゅぎゅつ」の発想が生まれました)この五鈷杵の握る所、いわゆる中種子町の部分には大日如来のご加持が宿っているという。

大阪では希な法華宗(私の実家も法華宗)の信仰が今は島のほとんどに根付いていること。また神社が多く、神話の世界のレジェンド級の神様たちが祀られている神々の島であること(この神々が種子島から日本を創造したと、わたしは疑わない)

さらに3万5千年前の世界でも珍

しい集落跡、立切遺跡がさとうきびの下に埋もれていること。また2千年前の種子島の弥生人は文字や装飾品の使用、共同埋葬、稲作、製塩などを始めたこと。松寿院さんが種子島の船印「日の丸」を島津家に献上して、これが後に国旗となっていくこと。

これは恐ろしい島だ、種子島は日本の始まりの島では、と当時感じ、今は確信しています。

そんな中、任期中は微力でしたが映像での情報発信を勤めさせていた大きなが、自分が定住出来るようトライアンドエラー連続の試行錯誤の毎日でした。まだまだ不安定な立場の状態ですが、しかし、全島の拠点となる大日如来のご加持に守られた中種子町にて、神々や先達が創り上げた「はじまりの島・種子島」という土地は私にいつかパワーを与えてくれるだろう、と勝手に決めています。

今後は「映像」と「農業」を融合させた新しい何かを創造することを目指します。ちなみに、世界を救うのは「農業」とAIが回答、そのうち都会からこぞって人々が種子島にやってくることになるでしょう。

人生の転機をつくってくれた3年間、みなさんありがとうございました。(山村)

マイナンバーカード申請・交付の開庁時間のお知らせ！！

◎お問い合わせ先 役場町民保健課戸籍住民係 ☎ ⑦ 1111 内線 212

令和2年4月より平日の業務時間以外にマイナンバーに関する業務のみ窓口を開庁します。

《開庁日》

毎週火・木曜日午後7時まで。

毎月第2・4日曜日午前8時30分から正午まで。

※都合により実施しない場合があります。

※5日(火)は祝日のため開庁です。

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

かごしまの農林水産物認証制度 (K-GAP) について

◎お問い合わせ先 役場農林水産課農政係 ☎ ⑦ 1111 内線 253



安心・安全な農林水産物を生産する取り組みを消費者に正確に伝え、鹿児島県産農林水産物に対する消費者の信頼を確保するため、安心と安全に関する一定の基準に基づき審査・認証する鹿児島県独自の認証制度です。

この制度は、県内で生産される農林水産物を対象としていますので、生産者の方で本制度に取り組みたい方がいらっしゃいましたら、農林水産課農政係までお問い合わせください。